

## は じ め に

和歌山県教育センター学びの丘は、学校や教育関係機関、地域の方々に御理解・御支援をいただきながら、教職員研修をはじめ、教育相談、研究開発、生涯学習など様々な事業を行って参りました。本年度は「研究の充実」「研修の充実」「学校支援」を3本柱に、「役立つ支援の充実へ！」をモットーとして、各学校の教育活動に役立つ研究成果を提供するとともに研修内容を一層充実させ、様々な「学び」を支援しています。

教職員研修については、本年度「校長のためのOJT研修講座」「わかやま再発見研修講座」「ESD（持続発展教育）研修講座」等を新設するとともに、南北に広い本県の地理的条件を考慮し、「小学校国語科教育研修講座」「小学校外国語活動研修講座」「グループアプローチ研修講座」の3講座を紀北、紀中、西牟婁、東牟婁の4地方で開催いたしました。

学校支援については、授業実践にかかわって、学校の個別の課題や教員のニーズに対応するため、理科ふしぎ発見わくわくキャラバン（小学校理科観察・実験出前授業）、ICT授業活用サポート（ICTを活用した授業等についての校内研修・授業支援）、教科・領域等課題サポートなどを行っています。

教育相談では、子どもの望ましい発育・発達を支援するため、教育関係者や児童生徒、保護者の方々を対象にした心の教育相談及び特別支援教育相談を実施しました。これに加えて、教育相談主事等を学校等に派遣する事業や、特別支援教育に対する支援も行っています。

さらには、カリキュラムセンター機能の充実を図り、昨年度リニューアルした「きのくに学習館・net」で、各種教材の閲覧やテレビ会議による教職員の相互交流や教育課題について研修を行えるようにしました。

本誌では、「個々の児童生徒の学習課題を把握し改善を図る教材パッケージ（学びサプリ）の作成－教員の日常的なICT活用をとおして－」「国語科における思考力・判断力・表現力等の育成に関する実践研究－4地方での研修講座開催を通して－」等6編を掲載しています。これらの内容が、日々の教育実践の参考となり、本県教育の充実につながることを願うとともに、御高覧の上、御意見・御指導をいただければ幸いです。

なお、本誌とは別に当教育センターのWebページには、教育センター学びの丘各課の事業を紹介した「Monthly Times」も掲載していますので、御案内申し上げます。

平成24年3月

和歌山県教育センター学びの丘  
所 長 稲 生 淳